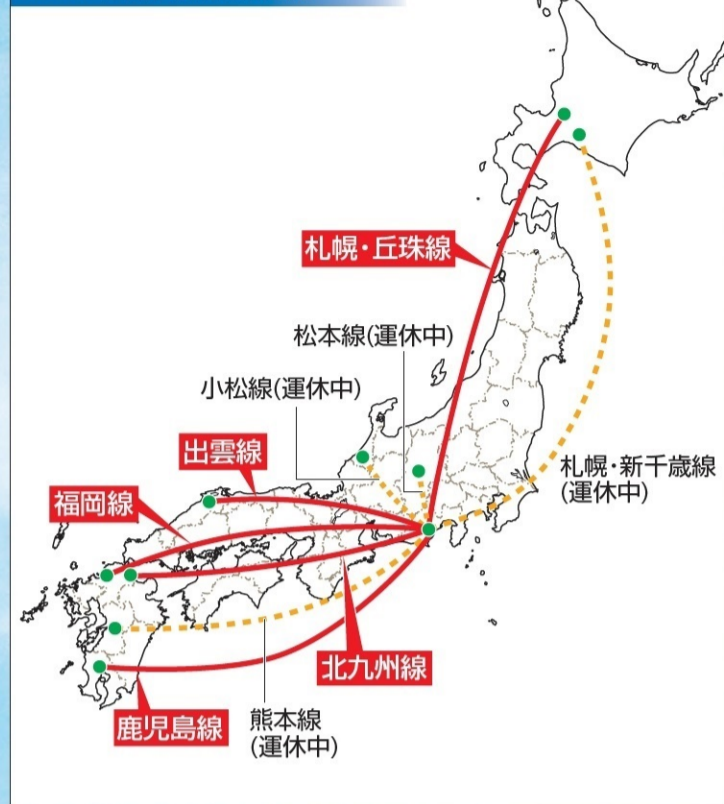
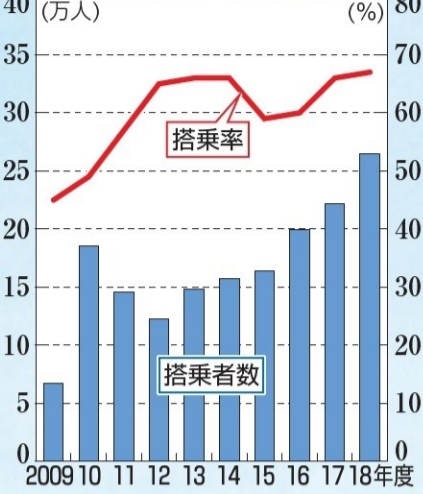


静岡空港10周年 特集

FDAの静岡発着路線



FDA静岡発着路線の搭乗実績



FDA 着実に路線強化

国際線の搭乗客数は韓国や中国との外交問題、景気変動などによる訪日客の激しい増減が絡み、先行きを見過すに困る面がある。一方でFDAは近年、出雲、北九州各線を新規開設し、潜在需要を取り込みながら堅調な搭乗率を維持している。静岡空港の持続的発展には、本県発祥のリージョナル航空会社の安定成長が今後不可欠。

静岡空港開港に合わせ、鈴与グループが2009年7月に開業したフジドリームエアラインズ(FDA)。「地方と地方を結ぶ交流の懸け橋になる」との理念を掲げ、中部地方を中心に路線網の強化を続ける。静岡発着は当初の3路線4往復から5路線8往復に広げ、国内線利用者の伸びを支えている。

FDAは静岡空港から2機態勢で開業時に小松、熊本、鹿児島各線を就航した。その後業績悪化で苦しんでいた日本航空から地方路線の一部を事実上継承する形で路線を拡大。静岡発着では10年4月に福岡、札幌(新千歳)各線で共同運航を始めた。

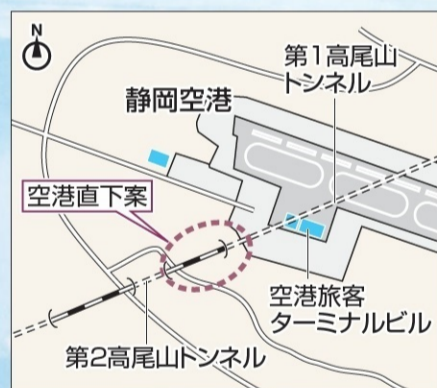
静岡発着便は新幹線との競合を懸念する声が強かったが、ダイヤ改正による使い勝手の向上、魅力的な運賃制度などの策を重ね、空の旅の便利さや楽しさを訴求した。その結果、搭乗率は開港した09年度こそ44・5%だったが、18年度には67・4%へ大幅に上昇。広報担当は「空路の移動に不慣れだった県民に時間短縮効果などが広く認知され、評価されるようになった」と振り返る。

本県発リージョナル航空

静岡空港開港に合わせ、鈴与グループが2009年7月に開業したフジドリームエアラインズ(FDA)。「地方と地方を結ぶ交流の懸け橋になる」との理念を掲げ、中部地方を中心に路線網の強化を続ける。静岡発着は当初の3路線4往復から5路線8往復に広げ、国内線利用者の伸びを支えている。

空の玄関口 交流拡大の翼に

空港新駅の行方



県、必要性訴え JR「造らず」

「JR東海の幹部は新駅について『造らない』と明言。理由として新駅と隣接駅の駅間が短く、高速運行に支障が生まれかねないことを挙げる。川勝平太知事は静岡空港が広域防災拠点に指定されていることを踏まえ、『新駅は仮に、平時に使われなくても有事に必要』と必要性をアピールしている。

ただ、現在の静岡空港の利用状況では、JRに新駅の必要性を認識させるまでには至っていない。空港関係者は世界的にも高速鉄道と空港が交わっているケースはほとんどない。空港が鉄路につながるならば、新たな可能性が生まれる」と強調する。

一部有料・予約制を検討

富士山静岡空港株式会社(牧之原市)は、現在、すべて無料にしている同空港駐車場について、本年度以降、一部を有料の事前予約制にすることを検討している。導入時期は調整中だが、既に利用実態の調査を始めていて、結果を踏まえて予約制に踏み切る考えだ。

静岡空港は2009年の開港当初から、2000台分の駐車場が無料で利用でき、県や同社は積極的にアピールしてきた。ただ、近年は大型連休などの繁忙期に駐車場が埋まることがあるとい

う。同社の西村等社長は「スムーズなチェックインが今の静岡空港の売り。駐車場の事前予約を導入してストレスなく、飛行機に乗れる流れは必要」と強調する。

ただ、無料駐車場として10年間親しんできた県民にとって、一部有料化の検討に対して慎重な意見も寄せられているという。同社の担当者は「利便性向上のため、一部が有料という形になる。全部を有料にするわけではないことを知ってほしい」と訴えている。



開港以来、無料を続ける駐車場。繁忙期にはほぼ埋まるほど混み合う＝5月下旬、静岡空港

次世代型の運営管理で省力化

保守点検に最新計測車

次世代型空港の運営管理手法を構築しようと、富士山静岡空港株式会社は保守点検作業への最新技術導入に力を入れている。業務の効率化を進めて人手不足の解消を図り、自立した空港運営を目指す。

導入するのは、首都高技術開発部が開発した道路保守管理システム「インフラドクター」。カメラやレーザーセンサーを搭載した計測車両を走行させ、滑走路や駐機場の3次元点群データを取得する。路面の勾配や、

ひび割れなどの損傷の調査を同時に行い、高精度のデータを一元管理することが可能で、大幅な省力化が期待できるという。2月下旬に計測作業を行い、現在は取得したデータを解析している。2020年3月までを実証実験の期間とし、本格導入に向けて有用性を検証する。静岡空港株式会社は「人材不足は今後、間違いなく起る。効率的で付加価値の高い取り組みを進め、ほかの空港のモデルになりた



新たに導入する「インフラドクター」の計測車両。最新技術の導入で業務の効率化を進めている＝5月中旬、静岡空港